国会事項

開会式

第百七十四回国会の開会式は、一月十八日天皇陛下の御臨席のもとに参議院議場において行われた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第百七十四回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

今日、わが国をめぐる内外の諸情勢はまことにきびしく、緊急に解決すべき幾多の重要問題があります。

このときにあたり、われわれは、わが国をとりまく現状を深く認識し、内政、外交の各般にわたり、必要な施策を強力に推進し、もって国民生活の安定向上を図るとともに、諸外国との相互理解と協力を一層深め、世界の平和と繁栄に寄与していかなければなりません。

本年は、わが国の議会開設百二十周年の記念すべき年にあたります。この際、われわれは先人の築いてきた議会政治の足跡をあらためて顧みるとともに、議会制民主主義の更なる発展のため、たゆみない努力を払わなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法に基づき、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次に、天皇陛下から次のおことばを賜った。

本日、第百七十四回国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

国会が、永年にわたり、国民生活の安定と向上、世界の平和と繁栄のため、たゆみない努力を続けていることを、うれしく思います。

ここに、国会が、国権の最高機関として、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、その使命を十分に果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

衆議院

議事日程

一月十八日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十二年一月十八日（月曜日）
午前十時開議
第一　議席の指定

一　国務大臣の演説

参議院

議事日程

一月十八日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号
平成二十二年一月十八日（月曜日）
午前十時開議
第一　議席の指定
第二　国務大臣の演説に関する件

人事異動

内閣

国務大臣秘書官　石田智太郎
財務大臣秘書官に任命する　大貫　英範
財務大臣秘書官　願に依り本官を免ずる（以上一月七日）
徳茂　雅之　西口　彰人　矢崎　敏幸
内閣官房郵政改革推進室参事官に任命する（各通）
（一月十二日）

総務省

（総務審議官（自治行政））　岡本　保
総務事務次官に任命する
（情報通信国際戦略局長）総務事務官　小笠原倫明
総務審議官に任命する
（大臣官房総括審議官（広報、政策企画担当））同　田中　栄一
大臣官房長に配置換する
（大臣官房長）同　大石　利雄
大臣官房総括審議官（広報、政策企画担当）に配置換する
（大臣官房審議官（財政制度・財務担当））同　望月　達史
大臣官房付に配置換する
（内閣府地方分権改革推進委員会事務局次長）内閣府事務官　小髙　章
大臣官房審議官（行政評価局担当）に転任させる
（大臣官房付）総務事務官　金澤　和夫
大臣官房審議官（財政制度・財務担当）に配置換する
（大臣官房審議官（情報流通行政局担当））同　利根川　一
情報通信国際戦略局長に昇任させる
情報通信政策研究所長に併任する
（経済産業省大臣官房審議官（ＩＴ戦略担当））経済産業技官　武井　俊幸
大臣官房審議官（情報流通行政局担当）に転任させる
（消防団員等公務災害補償等共済基金事務局長）　田中　健
自治大学校副校長に採用する
（四国総合通信局長）総務事務官　山本　一晴
九州管区行政評価局長に配置換する
（情報通信政策研究所長）同　関　啓一郎
四国総合通信局長に昇任させる
（大臣官房審議官（行政評価局担当））同　渡会　修
内閣府に出向させる
（九州管区行政評価局長）同　渡辺　信一
大臣官房付に配置換する
（大臣官房付）同　渡辺　信一
経済産業省に出向させる
（総務事務次官）　鈴木　康雄
辞職を承認する（以上一月十五日）

文部科学省

国立大学法人鹿児島大学長に任命する（再任）（一月十二日）　吉田　浩己

叙位・叙勲

○叙位

（国立大学法人職員）
従四位に叙する（各通）
正七位　前田　浩敬
正五位に叙する（各通）

古賀　愛人
新谷　勝造
大原　亨
松尾　榮
菊谷　利光
田中　良
鈴木　丈夫
中畑精五郎

従五位に叙する（各通）
兼村　晴定　木村　丹二
田邉　宗利　中澤　速雄
正六位に叙する（各通）
池田　眞澄　若林　喜良
従六位に叙する（各通）
岡本　保正　北爪　祐幸
正七位に叙する（各通）
芦原　正彦　鈴木孝一郎　根本　豊次
従七位に叙する（各通）（以上二十一年十二月十日）
（三重大学名誉教授）　野口　芳雄
従四位に叙する
松添　達郎
正五位に叙する
大須賀賢治
三浦　安俊
吉田　富雄
（座間市議会議員）
従五位に叙する（各通）
坂田　廣治　佐々木康二
塚本冨士太郎　鳥本　勤
濱田　太　平野　倉二
蓬郷　三郎　宮村　健二
正六位に叙する（各通）
青野　清繁　穴水　清
曽山　篤徳　立花　義和
従六位に叙する（各通）
片岡　進
渡部　道久
後田　政喜　川瀬　喜作
泥谷　数男
正七位に叙する（各通）
岡本　賢　坂本　進宏
従七位に叙する（各通）（以上二十一年十二月十一日）
宅本　定
中村　憲義
深田　修造
正三位に叙する
（東京大学名誉教授）
小林　信次
正四位に叙する
（国立大学法人職員）
黒川　高秀
従四位に叙する
佐々木　巽
正五位に叙する
伊藤　義文　岡田　寅松
北村　博　平井　博文
従五位に叙する（各通）
岡本　克巳
岸本　太造
堀井佐武郎